

議会だより

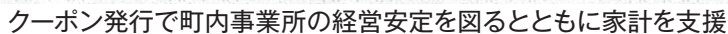


一球入魂

9月定例会

- 2 今年もクーポン発行で事業所支援
- 3 各常任委員会、全員協議会での主な質疑
- 4 令和2年度各会計の決算を認定
- 7 模索は議会力・議員力の向上につながる
- 8 7議員が町政を質す
- 16 岩美北スポーツ少年団初優勝

全町民に 6000 円で家計も応援



9月定例会を、9月14日から29日まで、16日間の会期で開きました。

一般会計補正予算、各会計決算認定など、17議案のすべてを、原案どおり可決しました。

感染拡大防止策の1つとして4月から試験的に導入していたキャッシュレス決済(Paypay)を正式導入する。併せて複数社の決済サービスが利用できるよう動向、費用対効果などを踏まえて検討する。

各常任委員会、全員協議会 での主な質疑

9月15日に各常任委員会、9月17日に全員協議会が開催されました。

V字回復支援事業（いわみ地域ふれあいクーポン）
足立議員 医療費は対象外だが、医薬品も同様であるか。

澤商工観光課長 診療を伴う処方箋で購入するような医薬品は対象外とするが、ドラッグストアなどで購入できる医薬品については清算が煩雑となるため、特に規制を設ける予定はない。

橋本議員 町民がクーポンを使用し、各店舗などが請求後に現金化するのに、どのくらいかかるか。

商工観光課長 月に2回の換金事務を行い、その月のうちには各店舗などに振り込む予定である。

田中議員 クーポンの配布方法は。また、前回の

クーポン配布の際に行き渡らなかった事例はなかったか。

商工観光課長 今回も世帯主宛てに簡易書留で送付する。不在の際は数回臨戸配達を行い、その後は、役場が個別に対応する。前回は、転出などにより、幾人かの方には行き渡らなかった。

小学校ICT環境整備事業
橋本議員 30%の減額理由が請負差額のためとなっているが、入札の状況によると、減額は10%程度であり、請負差額のみが理由であるか。

出井教育委員会次長 設計の段階で、当初予算より減額となった部分も含まれている。

岩美中学校屋内運動場武道場屋根根漏り修繕工事
杉村議員 防水シートは、10年程度したら、また取替えることになるか。



ICTを活用した授業（岩美北小学校）

教育委員会次長 管理によって劣化がある程度は遅らせることができるが、防水シートは10年毎に取替えが必要と考えている。

橋本議員 工事車両の進入のため、グラウンドに鉄板を敷くことについて、中学校の体育や部活動に支障のないよう行っていたきたい。

教育委員会次長 学校とも十分協議を行う。

澤議員 急な雨漏りとはとれない。報告がきつちりされていない部分があるのではないか。できるだけ安く修繕ができるよう心掛けるためにも、学校と連絡を密に取っていただきたい。

教育委員会次長 今回は陸屋根下の断熱材まで雨水が浸透していた。次回の防水シート取替時にも、断熱材まで交換することにならないよう、業者の方に維持管理のアドバイスをいたしながら管理について考えたい。



岩美中学校の授業の様子

町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
田中議員 町営住宅の用途廃止後の手続きの流れはどうか。

教育委員会次長 用途廃止を行った後に、鳥取県へ「公営住宅の用途廃止報告書」を提出し、県の報告内容を審査し、その報告書を国土交通省中国地方整備局に進達する。用途廃止承認基準に該当する場合は、国土交通大臣へ報告を行う。

手数料徴収条例の一部改正

橋本議員 個人番号カードの交付手数料は、預り金という形になると思うが、その事務を窓口で行うことに対する手当はあるか。

松本住民生活課長 徴収事務に要する市町村の事務費については、1件当たり幾らというものではなく、受託した事務全体でマイナンバーカード交付事務費補助金により措置されている。

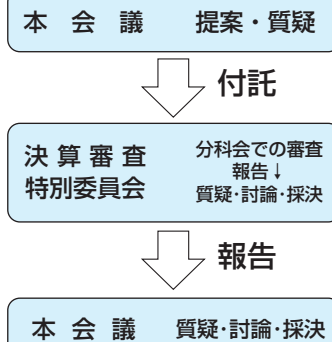
2年度各会計の決算を認定

会計別決算額

(万円未満切捨て)

会 計 名	歳入総額	歳出総額	差 額
一般会計	83億9794万円	82億1846万円	1億7948万円
住宅新築資金等貸付特別会計	34万円	34万円	0円
代替バス運送事業特別会計	4620万円	4620万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億3846万円	1億3826万円	20万円
国民健康保険特別会計	15億 911万円	14億8502万円	2408万円
集落排水処理事業特別会計	1億1148万円	1億1148万円	0円
公共下水道事業特別会計	4億8261万円	4億8261万円	0円
介護保険特別会計	16億6298万円	16億 833万円	5465万円
水道事業会計	2億3637万円	2億2208万円	1429万円
病院事業会計	20億5870万円	20億6059万円	△189万円

決算審査の流れ



予算の使われ方をチェック

2年度の各会計の決算を審査し、4年度予算などに反映させるため、総務教育、産業福祉の両分科会の審査報告をもとに、議長と議会選出の監査委員を除く議員10名で構成する決算審査特別委員会（森田洋子委員長）が決算全体の審査を行いました。

議長はどの場面でも参加できるので、審査に参加し意見を述べました。

その結果、いずれの決算も認定すべきものと決定しました。

決算審査報告書（HP参照）のうち主な質疑・意見を掲載します。

一般会計

【歳入】

問 元年度に比べて、不納欠損額が約400万円減少し、収入未済額が約400万円増となっている理由と、今後の取組は。

答 不納欠損は、元年度は固定資産税の大口の不納欠損処分を行ったが、2年度に大口はなかった。収入未済額の増は、新型コロナウイルス感染症の影響により納税が困難となった事業者などに対し特例の徴収猶予措置を

行ったもの。

悪質滞納者には資産調査を積極的に進め、必要に応じて差押えや換価を行いたい。

問 徴収率が前年度に比べて減少しているが、徴収猶予のほかに理由が考えられるか。

答 大きな要因はコロナ特例による徴収猶予だ。

【歳出】

財政一般管理費

問 ふるさと納税の推進に係る経費割合が寄附額の3割を超えているが。

答 全体の経費は寄附額の5割まで、返礼品購入費は3割までとされており、2年度の全体経費は5割以下で、返礼品購入費の割合は28・6%だ。

問 ふるさと納税の推進に係る経費は全額一般財源からだが、寄附金を財源としない理由は。

答 寄附者の意志を尊重して寄附金の全額を各事業に充当している。

支え愛ネットワーク構築事業

問 本事業の対象とならない方への対応は。

答 行政が全ての方の安否確認を行うことは困難であり、それぞれの地域に合った支え合いの仕組みを検討したい。

生活困窮者自立支援事業

問 コロナ禍における相談状況はどうか。

答 前年度より8件増えている。

生活保護事務費
問 対象が2世帯減少となった理由は。

答 新型コロナウイルス感染症拡大の影響による収入減少が理由の新規申請は無く、死亡、転出などによる廃止が新規申請を上回ったため。

有害鳥獣駆除事業

問 電気柵は、適切な設置がされていないと効果が得られないが、設置者に指導も必要ではないか。

答 専門的な知識が必要な場合もあるので、適切な設置ができるよう検討したい。

がんばる商工業者総合支援事業

問 事業承継支援の実績及び今後の見込みはどうか。

答 30年度以降実績はないが、2年度に実施したアンケートにより、事業承継希望案件2件を鳥取県事業引継支援センターへ取り次いだ。

今後、事業承継が実現すれば、岩美町事業承継ネットワークの支援を受けて補助金の活用が見込まれる。

町営住宅等長寿命化計画策定事業

問 町営住宅の需要見通しに基づく将来のストック量推計では必要管理戸数はかなりの減少となるが、今後の進め方はどうか。

答 需要状況などに応じて町営住宅をいくらか保有すべきか判断しながら、旧耐震基準で建設された住宅の建替えなどを優先的に進めていきたい。

震災に強いまちづくり促進事業補助金

問 耐震診断をしても耐震改修へ進んでいかにいが、今後どのように取り組んでいくのか。

答 2年度に耐震診断された方に耐震設計を促したが、建替えの方向で検討されており、制度の活用に至っていない。引き続き広報などで周知



長寿命化計画により町営住宅の建替えを進める

を図っていきたい。

問 空家等解体事業費補助金制度は特定空家の認定が条件だが、特定空家になるまで放置するケースが増えないか。

答 この制度が利用できるまで放置するのではなく、建物が活用されるよう、空家バンクへの登録など周知を図りたい。

高等学校生徒通学費補助金及び岩美高等学校生徒下宿費補助金

問 補助額が増えている理由はなにか。

答 元年度までは町内移動のみのバス定期代に補助していたが、2年度からは町外を含む公共交通機関の定期代に対する補助を拡充したため。岩美高等学校生徒下宿費補助金は、対象者の増加だ。

小・中学校少人数学級編制費

問 少子化により岩美北小学校でも1学年30人

を少し超える程度だが、その場合でもクラスを分ける必要があるか。

答 適正規模については色々な考え方はあるが、きめ細かな教育を実践するため、30人学級を継続したい。

後期高齢者医療特別会計

意見 今後、団塊の世代の方も対象となり、医療費の増加も想定されるので、病気の重症化予防などに取り組んで欲しい。

国民健康保険特別会計

問 特定健康診査の受診率が40.8%と前年度より低く、国の目標値に対しても未達成だが、ペナルティはあるか。

答 特定健康診査の受診率が影響するものとして、国からの保険者努力支援交付金があるが、2年度は影響がない。

問 30年度から県が保険者に加わったことで負担軽減はされたか。

答 市町村の医療費、介護納付金や後期高齢者支援金などの支払事務が県に一任され、町が行う事務負担は軽減された。

病院事業会計

問 今後の病院運営はどうか。

答 新型コロナウイルス感染症対応に伴う補助金や全町民へのインフル

エンザワクチン接種費助成事業による収益増、医薬品などの材料費の減少などにより、元年度に比べ赤字額が減少した。超高齢社会を見据え、

地域で安定した医療体制を提供するため、地域包括ケアシステムを推進し、保健・福祉・介護・医療の連携を図り、地域医療体制の充実と健全経営に取り組みたい。



岩美病院の医師による診察の様子

9月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認などした議案】

議 案		議 案	
条 例 改 正 外	2年度一般会計補正予算（第5号）専決処分	2 年 度 決 算 の 認 定	一般会計貸付特別会計歳入歳出決算
	町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正		住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算
	手数料徴収条例の一部改正		代替バス運送事業特別会計歳入歳出決算
	町道路線の認定について		後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
補 正 予 算	2年度一般会計補正予算（第6号）		国民健康保険特別会計歳入歳出決算
	2年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算
	2年度介護保険特別会計補正予算（第2号）		公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
議 員 発 議	コロナ禍による厳しい財政状況に対し地方税財源の充実を求める意見書		介護保険特別会計歳入歳出決算
	新型コロナウイルスによる米危機の改善を求める意見書		病院事業会計決算
	総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査		

【賛否が分かれた議案】

提出者	議 案	審議結果	賛否の状況
町 長	2年度水道事業会計決算	可決	反対：田中克美

請 願 ・ 陳 情 審 査 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択の理由
新型コロナウイルスによる米危機の改善を求める請願書 提出者：鳥取県農民運動連合会 代表者 今本 潔 紹介議員：田中 克美議員	採 択	採 択 橋本 恒、升井祐子 吉田保雄、杉村 宏 宮本純一、川口耕司 澤 治樹、田中克美	—
中華人民共和国政府に対して、自由や民主主義といった普遍的価値が保障されるよう、働きかけることを求める請願書 提出者：幸福実現党鳥取県本部 代表 広瀬 雅章 紹介議員：升井 祐子議員	継続審査	全員一致	—
辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情 提出者：「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従 外1名	不採択	採 択 杉村 宏、田中克美	新基地建設は、世界一危険と言われる普天間基地を一日も早く全面返還するため、基地機能を3分の1に縮小して辺野古に移設するもので、政府は沖縄の負担軽減に向けて、地元の理解・協力を得られるよう粘り強く取り組んでおり、国と沖縄県との間で解決されるべき。
「合特法」に基づく「代替業務」の陳情 提出者：協同組合 若美町環境事業公社 理事長 田中 清一 ほか2名	不採択	全員一致	いずれの陳情者も一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない者であり、合特法が規定する業者に該当しない。

討 論

水道事業会計決算の認定

反対（田中克美議員）

飲料水への消費税課税は、生計費非課税の原則に反する。

辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情

（不採択）

採択（田中克美議員）

陳情が沖縄県以外の移設を容認している点については賛同できないが、陳情の意思を真摯につけとめるべきだ。

不採択（柳 正敏議員）

地方自治法に基づき適切に処理をされており、真摯に沖縄県の意見を受け止めつつ、抑止力の維持と負担の軽減を両立する米軍再編に向けた取組を着実に前進させている。

採択（杉村 宏議員）

30年7月に全国知事会議全会一致で採択され、日米両政府に提言されたが、全国の問題であるという部分が当時から進んでいない。そういった意味で採択すべきだ。

選 挙

鳥取県東部広域行政管理組合議会議員選出
足立義明議員の辞職に伴い、橋本恒議員が選出された。

7月14日臨時議会

特別職の職員の給与に関する条例の一部改正

若美病院職員が酒気帯び運転で検挙され、町長及び病院事業管理者の監督責任を明らかにするため、給与を8月に限り減給とした。

一般会計補正予算（第4号）

町道陸上中央線の落石に伴う町道維持管理事業費、子育て世帯生活支援特別給付金の支給対象者の見込みが増加したことに伴い、361万円を増額。

模索は議会力・議員力の向上につながる

議会活動の在り方検討特別委員会の2年間

議会活動の在り方検討特別委員会は、元年6月議会に発足しました。今年の9月議会をメドに、目に見える成果をあげること、同時に来年の任期最後まで充実に努めることを確認し、元年7月31日に活動をスタートしました。

9月29日開催の第30回までを、「議員報酬のあり方について」の検討、「議案審議の進め方について」の検討の2つに括ってまとめてみました。



令和3年2月27日に開催された意見交換会

議員報酬のあり方について勉強・検討

- ◇ 8回・9回「町村議会議員の議員報酬等のあり方最終報告」（全国町村議長会）を勉強し議論。
- ◇ 10回～19回 全国町村議長会の「議員報酬算定にあたっての手順」に沿って、報酬を含めた諸問題を議論しました。議会活動・議員活動のそもそもから認識を深め、先進市町を参考に岩美町議会として、報酬支給の対象となる活動の範囲を定める議論を行いました。
- ◇ 次の5区分を活動領域とし、10月に前年の実態を調査しました。
 - ・法令に根拠を持つ会議等（A） ・法定ではないがAの遂行に必要な会合等（B） ・議案等の研究、質問原稿作成等、会議に直接的に付随する活動（C1）
 - ・C1のための調査研究等、会議に間接的に付随する活動（C2） ・町主催行事への出席等、議員個人の広報活動（X）
- ◇ 調査をふまえて議員報酬額の検討をする予定にしていたが、進展していません。

同時並行で検討し実行したもの

- ◇ 1期目議員の研修会（8回）
- ◇ ケーブルテレビの一般質問録画を1日増やし、YouTubeでも放送
- ◇ 一般質問をケーブルテレビで生放送

議案審議の進め方について検討

- 19回～30回 議案審議の進め方を検討。
- ◇ 岩美町議会では、定例会前の議運までに議案を常任委員会、全員協議会で説明し質疑することを慣例的にやってきました。
- ◇ 「上程予定の議案を、全員協議会で質疑すること、常任委員会や全員協議会の意見により議案を作成することは適法でない」との行政通知をもとに意見交換。
議員の意見—①議案内容を事前に把握し審議に生かしている、②質疑を反映させて議案をよりいいものにしてきた、を担保し、かつ適法でないとの指摘をクリアするとして、委員長から「事前の説明だけ、質疑は本会議で」というたたき台を提案し、議論しました。
- ◇ 今年の6月議会に、委員長提案を試行。
- ◇ 検証の議論の結果、9月議会は、事前の常任委員会、全協では説明に止め、上程後に常任委員会、全協を開催し質疑することを試行することに。
- ◇ 9月議会の検証の結果、12月議会は、従前通りのやり方を試行することになりました。

同時並行で検討し実行したもの

- ◇ 本会議の議案審議（請願・陳情も含む）を生放送
- ◇ 議案及び議会に提出した議案の説明資料を定例会初日にホームページに掲載
- ◇ 議員報酬等調査特別委員会、議会活動の在り方検討特別委員会の会議録をホームページに掲載

「議員報酬のあり方」でも「議案審議の進め方」でも、議会活動・議員活動のあり方を含めて、議論し共通認識にすることを大事にしてきました。今後の議員力・議会力の向上につながるものと考えます。

一般質問

7議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

9月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項(通告書のまま)
橋本 恒	9	1 今夏の豪雨対応の検証を
吉田保雄	10	1 町内の美化運動の推進について 2 町民の健康寿命の向上と共同菜園の取組について 3 「ふるさと納税」の返礼品に地元産品を
川口耕司	11	1 指定避難所における太陽光発電蓄電装置の設置について 2 豪雨災害・土砂災害に備えた防災対策について 3 防災士の活躍の場を
田中克美	12	1 特別障害者手当と障害者控除について 2 トイレに生理用品を設置することについて 3 米価下落への対応について 4 事業用太陽光発電施設について
升井祐子	13	1 災害に強いまちづくりを 2 ワクチン以外の予防策にも力を入れて
森田洋子	14	1 新型コロナウイルスワクチンについて 2 野良猫対策と地域猫の考え方について
杉村 宏	15	1 世帯のネット接続環境と、GIGAスクール構想実現の現状は 2 情報を得るのは、町民・議員、同じ権利であり共有すべき

議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧ください。会議録は、12月ごろから議会事務局や議会ホームページをご覧ください。

悪天候時の休校に客観的な基準を

橋本 恒議員

判断基準の作成を検討したい

寺西教育長



橋本 恒議員

橋本 今、備えるべき自然災害は、水害・土砂災害ではないか。

西垣町長 近年、豪雨に伴う災害が多発しており、防災対策の充実が大変重要だ。

橋本 県の蒲生川整備事業の進捗状況は。

町長 まだまだ事業完了の時期は見通せない状況で、引き続き事業の進捗が図られるよう、強く要望していく。

橋本 防災の積極的な広

報活動はできているか。

町長 さまざまな情報をホームページや町広報で知らせており、地域に向いて説明も行っている。

橋本 水害時、頑丈で高いところへ避難するという観点で、町民体育館と中央公民館を避難所にできないか。

町長 水害の避難所としては適さないという考えに変わらない。早めに避難をしてほしい。

橋本 土砂災害の危険のある岩美中学校の避難確保計画と避難訓練はできているか。

教育長 避難確保計画は

策定済みで、避難訓練も行われている。

橋本 7月7日は小中学校とも大雨で授業打ち切りとなったが、登下校はどのような検討のもとで決定されたか。

教育長 6時57分に大雨警報が出ていたが、町内は小康状態で各校長と協議し学校を開いた。9時30分に臨時校長会を開き下校時間を早める

ことを決め、12時頃保護者宛てにマチコミメールで下校時間を早めることなどを知らせた。

橋本 悪天候時の休校に、客観的な基準はあるか。

教育長 明文化した判断基準はない。

橋本 災害が予想される時は、積極的に休校を考慮すべきではないか。

教育長 避難所が開設される場合は休校を考える。児童生徒の安全が一番

橋本 悪天候時、徒歩の集団下校は、教員同伴であつても、児童の安全確保は難しいと考える。

豪雨の中、徒歩の集団下校で、安全は確保できるか。

教育長 校区内の増水の状態などを確認し、安全が確保できると判断した。

橋本 スクールバスと同じ安全の確保には、保護者への引き渡しが有効。なぜ、引き渡しをやらなかったのか。

教育長 迎えに来られる家庭は引き渡しを行うことができると知らせており、一斉の引き渡しは実施しなかった。

橋本 どのような状況であれば、引き渡しを行うのか。

教育長 保護者へ確実に

引き継ぐ必要があるときを想定している。

橋本 鳥取県中部地震のとき引き渡しを行っている。

地震だけでなく、徒歩では児童の安全が確保できない時にも引き渡しを行うべき。

教育長 災害発生している場合は引き渡しを行う。

災害が予想される場合は、気象状況などを判断して決めるが、引き渡しは安全面で一番確実な方法なので、学校とも協議しながら実施したい。

橋本 休校や引き渡しの客観的で明かな基準やマニュアルを設け、保護者などと共有することが必要だと考えるがどうか。

教育長 休校などの判断基準があってもいいと思う。関係者の意見を聞きながら作成を検討したい。



災害時、保護者が児童を学校まで迎えに行く「引き渡し」訓練の様子

町内美化運動の推進を

吉田 保雄議員

環境美化指導員の巡回や啓発に努める

西垣町長



吉田 保雄議員

吉田 日常、啓発活動の指導をしていたらいいが、小中学校・保育所など子どもたちへの指導を再度お願いしたい。

吉田 コロナ禍の閉塞感のせいなのか「ごみのポイ捨て」が散見される。近隣の市町村と連携して、環境の美化とごみのポイ捨てをしない取組が必要と考えるがどうか。

町長 環境美化推進指導員による状況確認や回収、またシルバー人材センターに委託し定期的な清掃も行っている。

ごみのポイ捨てを減らすには、モラルの向上が必要で、町広報・岩美町チャンネル・看板などで啓発に努めたい。

町長 子どもたちには資源回収・リサイクルへの参加、環境問題のポスター作成など環境美化に対する取組を通じて啓発を行う。

吉田 ジオパーク・レンジャー制度の設定や町が管理するごみ箱を設置する考えは無いのか。

町長 環境美化指導員の巡回で対応する。ごみ箱は、かえって景観を害した事もある。ごみは持ち帰っていただきたい。ごみ箱は設置しない。

「共同菜園」の取り組みを

吉田 保雄議員

市民農園の希望者を調査し、判断

西垣町長

吉田 健康寿命の向上は、重要な課題であり、健康維持のため、高齢者や子どもたちを交えた家族の方が、菜園で野菜や花を作って行けるよう、休耕畑地を活用して、分割賃

出し菜園を造る考えは無いのか。

町長 他の自治体のような「市民農園」の開設については、希望者がどの程度か調査して、必要

性を判断したい。

吉田 高齢者が害獣から畑を護るのは困難だ。分割貸出し菜園では、地域の方をお願いして、皆で害獣から菜園を護る事を考えて頂きたい。

町長 共同の菜園を必要とした際には、運営方法や害獣対策を含めた支援策を考えたい。

「ふるさと納税」の返礼品にお任せパックを

吉田 保雄議員

実施可能な方法を事業者と一緒に検討

西垣町長

吉田 「ふるさと納税」は、2年度1億3306万円と、多くの方の寄附をいただいている。

コロナ禍で自宅での食事の機会が増えており、返礼品に「岩美町の産物お任せパック」を加えることはできないか。

役割なので、可能な限り事業者と一緒に検討する。

吉田 ふるさと納税の一部を「町内の美化運動」の為に活用できないか。

町長 ふるさと納税の寄附条例で、3事業を設定している。その内の「美しい自然環境の保全及び活用に関する事業」で、環境美化に取り組む場合の活用を検討していく。

町長 本年度も昨年同様多くの方に寄附いただいている。より多くの町内産品を紹介するのも、ふるさと納税のひとつの



町内各所の「ごみのポイ捨て」状況

豪雨・土砂災害に備えた防災対策は十分か

川口 耕司議員

助成制度・周知方法を工夫して取り組む

西垣町長



川口 耕司議員

川口 急傾斜地崩壊危険区域は、急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律により内容が定められているが、急傾斜地崩壊危険区域の指定基準はどうか。

村島総務課長 指定基準は斜面の傾斜度が30度以上で崩壊により相当数の居住者に危険が生ずるおそれのある土地、また知事が指定する急傾斜地の崩壊を招く恐れのある土地。

川口 元年に全戸配布されたハザードマップでは

定箇所数はいくらかあるか。

総務課長 急傾斜地の警戒区域は156か所で

全てが特別警戒区域、土石流の警戒区域は67か所でその内49か所が特別警戒区域、地滑りの警戒区域は9か所となっている。

川口 県は急傾斜地の崩壊対策事業や砂防事業を

行い、指定区域の住居の建て替え、移転などに負担軽減措置があるが利用状況はどうか。

総務課長 負担軽減を図る事業は、26年度に制度を創設しているが町民の利用はない。

川口 急傾斜地の警戒区域は156か所で全てが特別警戒区域ということであったが、整備事業が行われたところはあるか。

総務課長 14か所で整備事業が済んだ。

川口 ハザードマップを配布し警戒区域及びそれぞれの危険度を周知しているところであるが、警戒区域について、住民の認知度と再度の周知をどう考えるか。

町長 町民が自宅の状況などを承知しているかはわかりかねる。

土砂災害の警戒区域についてはハザードマップで確認いただくことが大

切である。
助成制度を併せて工夫をして周知したい。

指定避難所に蓄電装置の設置を

川口 耕司議員

設置は困難だ

西垣町長

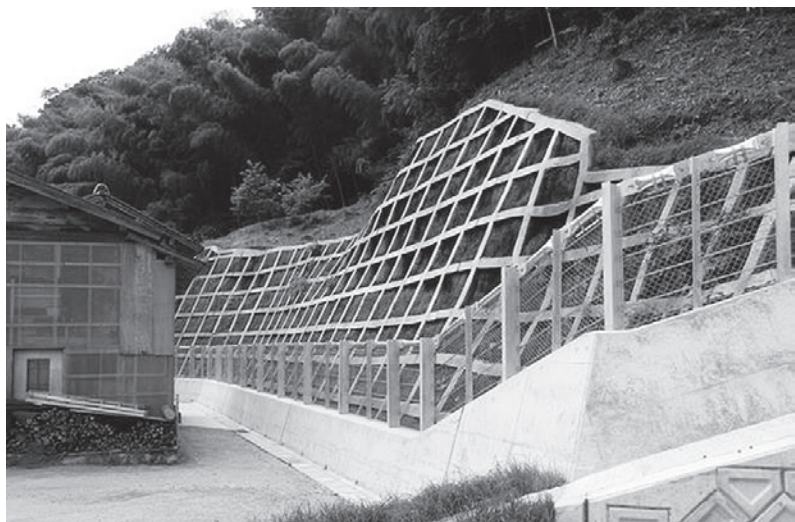
川口 いつ起こるかかわからない地震、また台風などでの被害状況によっては長期停電が発生することもある。
指定避難所に太陽光発電蓄電装置を設置するべき。

その他の質問

防災士の活躍の場を

町長 先進の事例を見ると、40ワットのLED照明20本分の電力を賄う太陽光発電蓄電装置の整備に約4500万円の事業費がかかっており、現段階では設置は困難である。

現在の指定避難所の停電時の対応としては、照明や夏場のスポットクーラーは昨年防災倉庫に整備した発電機で、冬場の



急傾斜地整備の様子(長郷地内)

特別障害者手当の対象に声をかけを
田中 克美議員

声かけできる体制を作りたい

西垣町長



田中 克美議員

田中 町職員、ケアマネージャーなど介護事業に関わる人が、目前の高齢者が手当の対象に該当しないかなど、高齢者を支援することを期待したい。町として働きかけを。

町長 地域包括支援センターなどに協力を求め、声かけできる体制を作りたい。

米価下落に町独自の直接支援を
田中 克美議員

県、農協と一緒に検討したい

西垣町長

田中 県内産米の概算金は、コシヒカリの場合、1等60kg当り1万2000円で昨年より2400円の2割減だ。生産費は60kg当り1万5155円で4007円の労働費をも上回る赤字だ。米づくりはできなくなる。米は町の農産物産出額の7割超で、地域経済にとっても痛手だ。

政府は価格下落の責任を生産者と市場に押し付け、支援しないと声明している。26年の価格暴落に際して、私の調べで2町が利子補給ではなく直接支援している。

一つは、主食用水稻作付面積対象に交付金を交付するもの、一つは、種子購入経費と乾燥・調整経費に助成金を助成するものだ。

農家の生産意欲を後押しするため、町独自の支援策を検討することを求める。

町長 深刻な状況だと認識している。まずは国に支援策を求めたい。単町では困難なので県、JAと一緒に検討したい。

トイレに生理用品を
田中 克美議員

役場など3か所のトイレにおく

西垣町長

田中 5月末からの生理用品の無償配布で届いたのはどれだけか。

役場、病院、中央公民館などの女子トイレに配備せよ。

町長 4人が受け取った。

貧困対策として、役場、すこやかセンター、中央公民館に配備して利用状況を把握したい。

田中 ヒトの目を気にせず使えるために、学校、

太陽光発電に規制やルールを
田中 克美議員

ルールは必要で研究したい

西垣町長

田中 町内でも森林伐採して太陽光パネル設置の事例が出てきている。実態を把握すべきだ。

破壊はダメ。規制やルールが必要だと思う。

町長 ルールは必要だ。

町長 通告後に調べ、国の認定受けた施設が44件、うち4件がメガソーラーだとわかった。

先行条例を研究し、町も制定すべきだ。
町長 他自治体の事例を研究したい。

田中 太陽光や風力への転換が必要だが、環境

町長 国、県の通りでなく住民目線で考えて表記するよう、検討させたい。



価格暴落で厳しい米づくり（延興寺地内）

災害時支援プランは

升井 祐子議員

引き続き作成を働きかけた

村島総務課長



升井 祐子議員

町長 農家に限らず地域全体に対し、共同作業が円滑に行えるよう多面的機能支払交付金の利用制度で支援している。

升井 ハザードマップで自宅が指定区域内にあると認識している人は少なく、特に若者の関心が薄い。

ハザードマップを見て家族で話し合うことが必要だと思つた。

西垣町長 より多くの方が内容を理解できるよう、町広報や岩美町チャンネルで説明に取り組む。

升井 農業従事者の減少で、災害時に水があふれ出ないための、水路の清掃、管理が困難になつていないか。

で、避難場所や要支援者について、誰がその方を支援してこの経路を通っていくかという話し合いをしていただく。

行政も、地域と連携して取り組む。

升井 救援物資の備蓄は一日分、不足の場合は県と連携するということがあったが、道路状況によっては連携がとれないのでは。

町長 県との連携の他に、町内のスパーマーケットなどの事業者と応援協定を締結している。

また、町民の皆さんには平時から、食料や生活用品の備えを心がけていただきたい。

升井 備蓄は消費期限内にイベントなどで消費しているとのことだったが、近年ではコロナ禍によるイベント中止が相次いでいる。

イベント以外の活用は

できているか。

検討をしている。

ワクチン接種の安全性はどうか

升井 祐子議員

臨床試験で安全性の確認はされている

西垣町長

升井 ワクチン接種は、様々な認識の違いや不安がある。

ワクチン接種の有効性や安全性はどうか。

居組健康長寿課長 県の新型コロナウィルスワクチン相談センターに相談窓口を設置。

町長 臨床試験によりワクチンの有効性や安全性は確認されている。

升井 接種に関する適切な情報はどのように周知しているか。

升井 重症化予防のためにも、免疫力の上がる食材などを積極的に推奨し、町民の免疫力を上げることが考えていないか。

町長 免疫力を高める食材は積極的に摂取してほしいが、ワクチン接種が予防策の基本だ。

町長 接種券に説明書の同封や、ホームページや各医療機関において最新の情報提供を行っている。

升井 相談窓口が必要と思つたが、どのように



避難所運営訓練（蒲生地区）で更新したハザードマップの説明を受ける参加者

総務課長 地区や防災会の役員、民生委員など

升井 発災時は大変な困難が予想されるが、誰が中心となって要配慮者を共助するプランの組み立てをするのか。

総務課長 地区や防災会の役員、民生委員など

若者のワクチン接種率の向上を図れ
森田 洋子議員

町広報、防災無線で呼びかける
西垣町長



森田 洋子議員

最終的には、85%程度の接種率と思われる。

森田 生活圏を共有する麒麟のまち圏域の医療機関で、ワクチン接種を行う取組がある。

現在の予約数と本町の接種に影響はどうか。

町長 389人で新温泉町と鳥取市の方である。圏域の住民分を含めてワクチンが配分されているので、影響はない。

森田 副反応が怖いという理由で、されない方もいる。

副反応の事例はあるのか。

町長 まれに急性のアレルギー反応であるアナフィラキシーと呼ばれる

症状が出るとされるが、町内医療機関での発生はない。

森田 2回目接種で発熱した方が多いようだが、疑う症状の方が受診された時の医療体制はできているか。

小谷病院事業管理者 翌日以降に副反応と思われる受診された発熱の方は、解熱鎮痛剤を処方している。

入院となるケースがある。

れば、受入可能だが、事例はない。

森田 若者から家庭内感染が増えている。若者の接種率を向上させるべきと考える。

呼びかける考えはないか。

町長 県と市町村の連携会議で、実情を訴えている。

町広報、防災無線などで呼びかける。



ワクチン接種の受付(岩美病院)

地域猫活動の支援の考えはあるか
森田 洋子議員

県の制度の活用も含め検討したい
西垣町長

森田 近年、飼い主のいない猫(野良猫)の苦情が多い。

本町も野良猫対策を広報で呼びかけている。

野良猫発生の未然防止策とは何か。

町長 無責任な餌やりはしない、飼い主が最後まで愛情を持って飼うことである。

森田 本町は、30年度より、飼い主のいない猫対策事業を行っているが、取組の状況と課題はあるか。

町長 不妊、去勢手術費用の一部を補助する制度で、元年度は4頭、2年度は5頭である。

当初、自治会などによる取組を想定していたが、

実際は個人対応である。地域での取組までに広がっていない。

森田 人と猫の共生をめざし、地域の環境保全となる地域猫活動がある。

本町は、ボランティア団体ができたら、支援を考えるか。

町長 地域と連携して活動する団体があれば、県の制度の活用も含め検討したい。

GI G Aスクール構想の実現に向けての課題は 杉村 宏議員

大きく3つの課題に取り組み

寺西教育長



杉村 宏議員

杉村 町内世帯のネット接続環境の実態を把握しているか。

村島総務課長 NCNのインターネットサービスの加入状況は把握しており、3年8月末時点で1971世帯、町内全世帯の44・8%だ。

杉村 GI G Aスクール構想の実現も含めたとこで町民全体の環境整備になると私は思っており、接続環境の整備に、公費の投入を検討しているか。

に開放する。
常時開放の中央公民館と町立図書館は、自主学習は可能である。

杉村 町のGI G Aスクール構想の実現に向けて、町義務教育の課題は何で、それに対してどのように取り組もうとしているのか。

教育長 現在、さまざまな課題があるが、大きく3つのことを考えてい

る。
1つ目は、機器を取り扱うスキルの向上。2つ目は、授業における活用方法の充実。3つ目は、健康面と情報モラルの課題である。
GI G Aスクール構想の実現に向けて、個に応じた指導や、協働的な学びに生かすなど、学校の先生方と一緒に上げていきたい。

情報を得るのは、町民・議員、同じ権利だ 杉村 宏議員

西垣町長

議会側で協議を

杉村 28年9月と昨年6月の再質問だ。委員会資料をホームページ掲載や庁舎などでの閲覧をできるようにすべきと考えるが、提案者側としてはどう考えるか。

議員配付と同日にして、初日がいいのではないかと申し上げたところである。
議員配付と同日にしても、それは議会の判断だが、執行部側としては、議会の判断が議員への資料配付の日と同日に公開してもよいということは、特段問題ではない。

町長 過去の質問に対しては、議会に相談をさせていたきたいと答弁した。

この度の議会資料については、議会の協議によって、議会開催の初日にホームページで公開を決められたと理解をしている。

杉村 議会議員への資料配付の日と同日に公開したいとの提案でなかったことについてはどうか。

町長 一案として、修正などがある可能性もある。



タブレットを使った授業の様子(北小学校)

総務課長 町の公共施設でWi-Fiが整備されているのは、中央公民館、町立図書館と町内の5か所の指定避難所だ。町内の5か所の指定避難所は、避難所開設時だけ

杉村 各公的施設のWi-Fi環境などの整備と自主学習が可能かどうか伺う。

よって、接続を促進するという観点で現在のところ、公費投入は考えていない。

り、初日がいいのではないかと申し上げたところである。
議員配付と同日にしても、それは議会の判断だが、執行部側としては、議会の判断が議員への資料配付の日と同日に公開してもよいということは、特段問題ではない。

※この記事は、杉村議員が9月30日付(10月1日失職)をもって議員辞職され、9月15日に行つた一般質問の寄稿を辞退されたため、議会だより調査特別委員会が編集したものの。

岩美北スポーツ少年団 **初優勝** 中国大会の出場権獲得



監督 中野 智さん

岩美北スポーツ少年団は、6年生を中心に野球が大好きな子どもたちが集まっています。ろうきん杯県大会の準決勝・決勝戦では、強豪チームを相手に最後まであきらめず、粘り強いプレーで逆転勝利を収め、初めて県の頂点に立つことができました。今年開催された3つの県大会では、ベスト4、準優勝、そして優勝と、1段ずつ階段を上るように成長した姿を見せてくれました。日頃から、自分たちに何が足りないのかを考え、一生懸命練習に取り組んでくれた成果だと思います。中国大会では、応援いただいている地域の皆様や学校関係者の方々への感謝の気持ちを忘れず、鳥取県の代表として、全力プレーで戦ってきます。

主将 小谷 壮太さん

僕たちのチームは明るく元気なチームです。6年生9人、5年生6人、4年生4人、3年生と2年生は3人ずつで、全員で25人です。今年、僕たちは県大会で2度、同じチームに負けました。だから、練習でも「次は勝つ」という気持ちを持ってやってきました。最後の県大会は、決勝戦でそのチームと当たったので、みんなで「絶対勝つ」という気持ちを高めて試合に臨みました。結果は5対3のスコアで優勝しました。嬉しかったし、ずっと努力してきた良かったと思いました。次は中国大会に鳥取県代表として出場します。このコロナ渦の中で憧れの球場で試合ができること、監督、コーチ、保護者の皆さん、地域の皆さんの支えがあって野球ができることに感謝して、全力プレーでがんばりますので、応援よろしくお願いします。僕たち6年生は来年からは中学生だけど、先輩から続いてきた岩美北スポーツ少年団がこの先もずっと続いてほしいので、僕たちが精いっぱい野球を楽しむことで、野球を始める子がたくさん増えたらいいな、と思います。あこがれの野球選手と同じ球場で試合をするので、緊張すると思うけど、みんなで思いっきり楽しみたいです。チームのテーマ「無限向上心」でがんばります。

議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員長	議長	執行責任者
升井	森田	吉田	寺垣	川口	柳	橋本	田中	足立
祐子	洋子	保雄	智章	耕司	正敏	克恒	義明	

編集後記

今号では、議会の活動の在り方検討特別委員会の2年間の活動を、2つの柱で括ってみました。ぜひお読み下さい▼前号編集後記のメド意気込んで披露した自主研修について、後日談を報告しておきます▼19年4月にお招きした土山希美枝教授(当時龍谷大学、現在法政大学)が堺市議会の研修会で行なった講義録を入手し、岩美町議会でのレジュメと合わせて教材に、8月3日に計画▼折悪しくコロナ宣言と重なり、計画は延期▼時機を見て再挑戦したいものです。

田中克美